

校長だより

平成30(2018)年2月23日

逗子市立沼間中学校

第5号

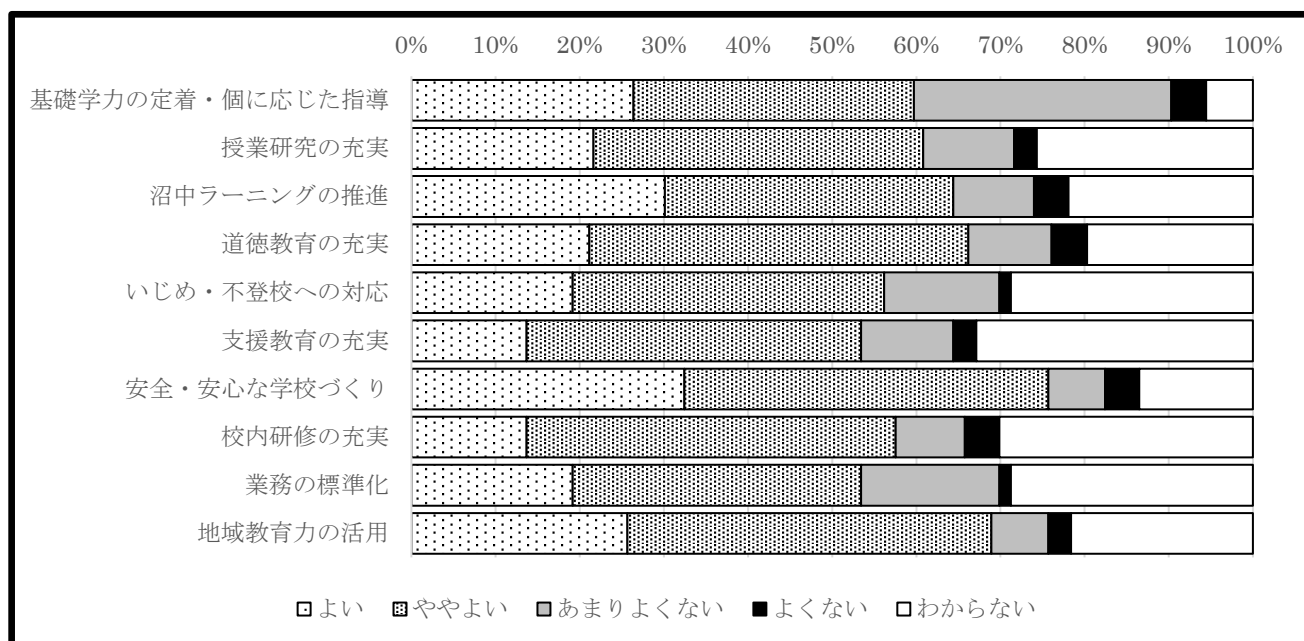
校長 関 忠子

先日は学校評価に関する保護者アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。
74名の方にご提出いただきました。回収率28%です。

回収率の低さは残念ですが、学校からの（校長からの）発信が少なく、学校のやっていることがよく見えなかったということだと受け止めています。次年度は少しでも取り組みが見えやすくなるよう努力していきます。もし、お子様からアンケート用紙と校長だより第4号を受け取っていない方がいらっしゃいましたら、本校のホームページにもアップしてありますので、今からでも目を通していただければありがたいです。

結果をまとめますと、全体としてはどの項目も6割ほどが良いのではないかと評価でした。

帯グラフをご覧ください。



1. 基礎学力の定着を図るとともに、個に応じた指導の機会を設ける

一番取り組みが見えやすい項目だったということだと思います。良い評価は60%を超えましたが、その一方で「あまり良くない」「良くない」を合わせると35%ほどになりました。1年生の保護者の方からは関連して宿題についてのご意見をいただきました。どの授業でも、一人ひとりの学びに応じた指導に取り組んでいるところですが、まだまだ応え切れていない、もっと工夫

が必要だと受け止めました。一人でどのように学習して良いのか分かっていない生徒に対しての指導の在り方はこれからも改善の余地があるところだと思います。次年度は少しでも取り組みに成果が上がるようにしていきます。

2. 授業研究の充実を図る

3. 沼中ラーニング（キャリア教育・市民性教育）を推進する

4. 道徳教育（心の教育）を充実させる

以上3つの項目は、概ね「良い」評価をしていただきましたが、「やや良くない」「良くない」の合計がそれぞれ10%、「わからない」が20%～25%という結果になりました。8. 校内研修の充実を図るも合わせて、子どもたちの日々の授業に深く関わる項目です。子どもの力を伸ばすための取り組みをもっと見ていただけるようにしていかなければと思います。

5. 積極的ないじめ・不登校等への対応に努める

6. 支援教育の充実を図る

8. 校内研修の充実を図る

9. 業務の標準化に向けて取り組む

この4項目は、肯定的評価は55%程度で、否定的なものは12～18%とやや高く、「わからない」が30%程度という結果でした。いじめ・不登校等への対応や支援教育については個別の対応もあり、見えにくいものではあったと思いますが、次年度に向けての材料になる評価であるとも思っています。どの生徒にとっても、日常生活に困り感がなく、常に安定した学校生活を送れるような学校を目指しているわけですので、私たち教職員のやるべきことはまだまだたくさん有り、個別指導でも全体指導においても、もっと細やかに手立てをとっていくべきだと感じました。

業務の標準化については、「教職員が変化に対応し、前向きに職務に取り組んでいるかどうか」で評価していただければとお願いしたところですが、否定が18%と高かったことは学校全体で反省していかなければならないです。次年度も様々な改革を進めながら、子どもたちにとってより良い学校環境を職員チーム一丸で作っていきたいと思います。

7. 安全・安心な学校づくりを推進する

10. 地域教育力活用の推進を図る

肯定的な評価が高かった項目です。安全・安心な学校については75%の高評価をいただきました。子どもたちが安心して通って来られる学校であることは今後も何よりも大事にしていきます。

地域の力を借り、地域の力となれる学校として少しずつ経験を積んできています。次年度は逗子市の財政状況もあり、職員体制としても人員が減少することになってはいますが、地域の教育力をできるだけお借りしながら、多くの人々の目で子どもたちを見守り育てていければと考えています。保護者の皆様にも、地域の方々にも、ご協力いただきたいことを明確にお伝えし、お力をお貸しいただきたいと思っております。改めてご案内しますのでよろしく願いいたします。

自由記述としてご記入いただいたものは次の通りです。

【1年保護者】

先生の差別扱い。

朝練は必要が無いように思います。

家庭学習がもっとできるよう指導して欲しい。宿題が少ないので、やらない子、やり方が分からない子はおいていかれる気がする。

【2年保護者】

体罰とは言えませんが、先生が生徒に注意する際にイスを投げているのを見たらしいです。

部活動顧問の暴言や校外活動での横柄な態度や問題行動が目立ち、校長指導に疑問があります。

教員の指導について、ご指摘いただきました。声を上げていただきましたことにまず感謝しております。詳細が不明の部分もございますが、人として、大人として生徒たちの見本となるべき教師として、真摯に受け止めなければならない事態です。すでに職員全体の問題として、子どもの人権を守ることの具体を改めて確認し、指導しているところです。校長としての指導についてもご指摘いただいているところですが、この他にもお気づきの点がございましたら、お教え願いたく思っております。

部活動の朝練習については、様々なご意見があると思います。現在学校では、練習が加重負担にならないように、部活休養日を設けることの確認をしております。お子様の状況もそれぞれですので、できましたら個別に顧問と相談していただければと思います。

家庭学習については、いかに取り組んでもらうか、が本校の毎年の課題であるとも思います。今年度も、1年生の4、5月の段階で、宿題についてはかなり丁寧な指導をしていました。宿題は自分でやって、期日までに提出する。当たり前なのですが、まずはこのことを指導しています。宿題をやってくるところを通じて自分の家庭学習につながる生徒が増えることに期待しているわけですが、宿題だけでも続けることが難しい生徒もいます。ご意見を頂きましたことは更に丁寧な指導、声かけの必要性があるということだと思っておりますので、全職員で考えていきたいです。

ご家庭からも、担任や教科担当に個別にご相談いただくこともお願いしたいです。また、毎週火曜日の放課後の自学自習への参加も勧めていただきたいと思います。そこでも学習方法についてのアドバイスはしていますので、家庭での学習につなげていくことができると思います。

【3年保護者】

先生方が忙しすぎるのが心配です。いつも、熱く、温かく見守って頂いて感謝しています。チームで対応してくださっているのが、安心して子どもをお願いできました。

ありがとうございます。職員の心配までしていただき、こちらこそ感謝申し上げます。至らないことも多かったのではと思いますが、温かく見守ってくださる保護者の方々のご期待に応えられるよう、今後も職員チームで頑張っていきたいと思っております。